

交通安全スローガン 未来へとどけ! 願いのかけはし 交通安全

【事故ゼロ】を目指して!!



協会スローガン

『マナーアップしばた』

事故原因は

「認知ミス」「判断ミス」「操作ミス」

以上「3点」が事故原因!!!



新発田市・聖籠町交通安全協会の【会員加入】のお願い

新発田地区交通安全協会は、運転免許会員様のご厚志による会費で活動しております。
会費は、**年間＝500円**です。

運転免許更新の際、**5年更新の方は 2,000円** **3年更新の方は 1,500円**

としてご協力いただきました会費は、

- 各種交通安全教室の開催
- 各種研修会の開催
- 各運動期間中の行事関係
- 優秀運転者表彰等の賞揚
- 機関紙(安全だより)の発行
- 会員の運転免許返納時の補助
- 安全講話の受付

等々、安全で安心な地域交通確立のため、有効に活用させていただいております。
今後とも、皆様のご理解あるご協力をお願い申し上げます。



【交通安全講話】の受付について

地域の皆様方で【「安全運転について」・「交通事故防止について」等の話を聞きたい】等とお考えの方は、新発田地区交通安全協会までお問合せください。

楽しく・分かりやすい講話をさせていただきます。

お電話をお待ちしております。

お問い合わせ先 (一財)新発田地区交通安全協会 事務局(担当 藤田) 電話 0254-26-3111

安全講話の状況



事業所の皆様に対する安全講話



交通事故ゼロに向けて できることを



聖籠町長 西脇道夫

新発田地区交通安全協会の皆様におかれましては、日頃より地域に根ざした交通安全啓発活動にご尽力を賜っており、心より感謝申し上げます。

肌寒い日も多くなり、令和7年も残すところあと僅かとなりました。今年は岩手県大船渡市での林野火災や福岡県や静岡県での線状降水帯による豪雨や浸水など、全国各地で災害が相次ぎ、県内においても、豪雨による土砂災害などが発生いたしました。この度の災害で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、令和7年9月末現在における新発田警察署管内では、交通事故件数及び

負傷者数は昨年と比較して大幅に減少している中で、残念なことに2名の方が交通事故によって尊い命を落とされました。尊い命が失われる交通事故が発生しており、憂慮するところであり、交通安全の防止には、交通ルールの遵守とともに、安全な行動をとることが重要であります。また、ドライバーは疲れを感じたら、ほんの少しの休憩でリフレッシュ、自転車と車の早めのライトの点灯、歩行者は反射材の着用などの工夫で交通事故にあわないことができると思います。

交通事故ゼロを目指すためには、行政や警察署、交通安全協会など関係機関が

一丸となって交通安全対策に取り組むだけでなく、私たち一人ひとりの事故を起こさないといった、強い心がけが重要となつてきます。

これから日没が早まるとともに天候不順が続く季節となります。そのため、路面状況の悪化と視界不良により、一層の注意が必要となります。あわせて、年末年始は飲酒の機会も多くなりますので、飲酒運転の撲滅に向けた啓発が重要となります。

皆様には、引き続き、交通安全運動へのご尽力とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、新発田地区の皆様におかれましては、風邪など引かず、笑顔で明るく希望に満ちた新年を迎えられますようご祈念申し上げます、年末の挨拶とさせていただきます。

令和7年9月末現在～新潟県・新発田警察署管内交通事故発生状況 (一財)新発田地区交通安全協会

1 新潟県内の事故発生状況

交通事故発生状況

発生件数			全事故			死者数			傷者数		
本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)
1,754	1,912	-8.3	39	40	-2.5	1,985	2,193	-9.5			

2 新発田警察署管内の事故発生状況

交通事故発生状況(地域別)

発生件数			全事故			死者数			傷者数		
区分	本年	前年	本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)
新発田市	47	77	0	1	55	84					
聖籠町	7	12	1	0	8	14					
胎内市	9	12	1	0	9	15					
合計	63	101	2	1	72	113					

3 交通事故発生状況詳細

年別 区分	発生件数			死者数			傷者数		
	本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)	本年	前年	増減率(%)
(1)事故当事者別									
高齢者事故	38	43	-11.6	2	1	+100.0	19	21	-9.5
子ども事故	4	4	0.0	0	0	—	4	6	-33.3
歩行者事故	15	21	-28.6	0	0	—	15	24	-37.5
(2)発生場所別									
交差点内	34	45	-24.4	2	0	—	38	54	-29.6
交差点付近	9	15	-40.0	0	0	—	10	16	-37.5
歩行者横断	8	13	-38.5	0	0	—	8	15	-46.7
(3)第1当事者の原因別									
信号無視	4	5	-20.0	0	0	—	6	7	-14.3
歩行者妨害	7	11	-36.4	0	0	—	7	13	-46.2
一時不停止	10	15	-33.3	1	0	—	12	19	-36.8
前方不注意	9	21	-57.1	0	0	—	12	23	-47.8
飲酒	1	1	0.0	0	0	—	1	1	0.0
(4)事故類型別									
対人車両	15	21	-28.6	0	0	—	15	24	-37.5
自転車対車両	2	13	-84.6	0	0	—	2	13	-84.6
※車両相互	44	65	-32.3	2	0	—	53	75	-29.3
(※内数～追突)	15	22	-31.8	0	0	—	20	25	-20.0
(※内数～出会い頭)	19	24	-20.8	2	0	—	22	27	-18.5



紫雲寺支部



大活躍の「チビッ子お巡りさん」たち



街頭指導所の開催



車両運転者に対する啓発品配布の状況



街頭指導所全体の状況

.....【安全運転実践運動モデル事業所指定式】の開催



指定式の状況



モデル事業所に対する「指定書」の交付



モデル事業所代表による「推進宣言」

交通安全協会は、地域の安全をまもるため、
こんな活動をしています 交通安全協会にご協力を

新発田市



出発式の状況

通学児童に対する
交通誘導

街頭指導の状況



手旗を掲出し、車両運転者に対する啓発活動

女性部・明治安田新潟支社新発田営業所の
皆様による安全指導

秋の全国交通安全運動

聖籠町



出発式の状況



街頭指導～町長・警察署長による通学児童に対する交通誘導

お知らせ

令和8年春 優秀運転者表彰の申請について

◎受付期間 令和7年12月1日(月)～12月12日(金)までの間

優秀運転者表彰は、県警察本部長と県交通安全協会長が連名で行う表彰で、運転経歴により「50年表彰」・「40年表彰」・「30年表彰」・「20年表彰」・「10年表彰(警察署長連名)」があります。

優秀運転者表彰申請書提出の留意事項

表彰の種別	50年表彰	40年表彰	30年表彰	20年表彰	10年表彰
申請の 資格要件	「50年表彰申請」は既に40年表彰を受賞のこと	「40年表彰申請」は既に30年表彰を受賞のこと	「30年表彰申請」は既に20年表彰を受賞のこと	「20年表彰申請」は既に10年表彰を受賞のこと	警察署長連名表彰を受賞のこと
添付書類	受賞歴がなくとも申請できますが、表彰種別に相応する期間以上継続して無事故・無違反の場合に限ります。 (無事故・無違反証明書で証明される年数の最大の年数「10年単位」)で適用します。 ※受賞歴のある方については、「過去10年以上の間継続して交通事故及び交通違反がなく、かつ、前回受賞日から今回受賞予定日まで10年以上継続していること」が条件となります。 ※受賞歴のない方で、前回受賞日後経過期間は10年未満でも可能です。				
期間の 計算	1 運転経験の年計算は、令和8年4月6日で行ってください。 2 表彰種別に掲げるそれぞれの年数の起算日は、 (1)最初に運転免許を取得した年月日 (2)運転免許停止処分を受けた場合は当該処分が終了した翌日が起算日。となります。				
記載上の 留意事項	1 申請の記載にあたっては、運転免許証のとおり正確に記入してください。特に、氏名・運転免許証の番号・交付年月日・有効年月日をはっきりと記載してください。 2 申請書は、必ず本人が署名・押印してください。(押印省略可) 3 申請書欄外の委任状は、「無事故・無違反証明書」・「運転記録証明書」を安全運転センターへの代理申請してもらう場合の委任です。				

編集後記

【交通事故の原因を意識】

交通事故の原因としては、大きく分けて「認知ミス」・「判断ミス」・「操作ミス」の3点が挙げられます。「認知ミス」とは、見るべきものを見ていなかった。例えば、わき見運転・漫然運転などが挙げられます。

「判断ミス」とは、あの車は止まるだろう。あの歩行者は道路に出てこないだろう。という思い込みによるものが挙げられます。

「操作ミス」とは、ブレーキをかけるなければならないところを誤ってアクセル操作をしてしまった。ゆるくハンドル操作をしなければならぬところを誤って急なハンドル操作をしてしまったことなどが挙げられます。

不幸にして事故を起こしてしまった時、「この事故の原因は、認知・判断・操作ミスのいずれかを考え、事故の原因を追究し、一度と同じ「ミス」をしないということが必要です。

まもなく年末を迎え、人や車の動きがawatだしくなります。このような時期だからこそ、常に安全運転に努め、安全で安心できる快適な運転を心掛け、事故のない、良いお年をお迎えください。

(安全太郎)